

ずいそう

我が家のメンテナンス

佐藤 弘史



1. はじめに

長い間茨城県に住んでおりましたが、4年ほど前から大阪で働くようになり、夫婦で大阪に引っ越してきました。茨城県には自宅があり、ここ数年は家だけが残っている状況です。ひと月に1度程度東京に出張する機会があり、その折に家に寄り、空気の入替えなどをしていますが、メンテナンスとしては十分ではありません。いろいろなものの調子が悪くなるという、新たな発見があります。視点を変えると、我が家のメンテナンスに関し、頻度の影響を検討できる貴重な機会が与えられた、と捉えることもできますので、そのいくつかをご紹介します。なお、「我が家」の家屋本体についてはまだ大きな損傷が認められていませんので、ここでは家に付属する耐久性消費財に関する記述が中心になります。

2. 自動車

大阪では交通の便が良い所に住んでいるため、自動車は必ずしも必要でなく、むしろ茨城の方で自動車が必要だろうということで、車を家に置いておきました。家に帰った時に、車を運転していましたが、1年たった頃でしょうか、バッテリーが上がり、エンジンがかからなくなりました。このため、自動車を手放すこととしました。毎日家に住んで適度に運転していれば、当然のことながら、このようなことは起こらなかったと思います。

3. ガス給湯器

大阪に移って最初の冬に、茨城の家の外に置いてあるガス給湯器から、水が漏れていることに気が付きました。修理をお願いしたところ、給湯器の中の水が凍り、壊れて水が漏れた、とのことでした。給湯器そのものは2、3年前に更新していますので、老朽化というより凍害が原因と思います。それ以来、冬に茨城の家を出るときには、給湯器の水を抜くことにしており、このような被害を防いでいます。これなども、毎日ガ

ス給湯器を使っていれば給湯器の中の水の温度も高く、凍害の発生する確率は低くなったものと思われる。

4. アンテナ

大阪に移って1年経過したころに、テレビ用アンテナが折れているのに気が付き、すぐに撤去してもらいました。このアンテナは、設置から15年程度経過していましたので、疲労などによるものと思われる。毎日住んでいても壊れる時期は変わらなかったと思いますが、異常にはすぐに気付くと思います。今回はたまたま屋根から落ちる前に気づき対処したため、ご近所にご迷惑をかけずに済みましたが、タイミングが悪かったり、点検間隔が長かったりすると、適切な対応が取れず、より大きな被害に発展する可能性があったものと思われる。

5. 庭

自宅に住み始めた頃は、庭にいろいろな草花を植えていましたが、そのうちローズマリー等ハーブの旺盛な生命力に圧倒されるようになり、専門家に頼みこれらの草花を撤去してもらい、シンプルな芝生の庭にしました。今度こそ手入れをしようと、手動の芝刈り機を購入しましたが、間もなく大阪に引っ越すことになりました。毎日自宅にいても十分な手入れができない私ですので、月に1回の手入れになると、2、3年で庭が雑草だらけになりました。このため、先ごろ再度専門家に依頼し、雑草を除去してもらいました。毎日点検・メンテナンスができる状況であっても、必ずしも良好な状態を保てるとは限りませんが、1月1回よりはいくらかましな状態にできたのではないかと思います。

6. 車庫の伸縮扉

先日、車庫の伸縮扉の部材を繋ぐビスが外れていることに気が付きました。それも1か所ではなく、数か

所外れていました。応急処置としてビニールの紐で部材を結びましたが、新しい伸縮扉に交換することとしました。この扉は設置してから20年近く経過しており、強風などによる疲労によって損傷したものと考えられます。車を置いていた時には、車により扉への風の影響が多少緩和されていましたが、自動車を処分してからは強風が直接作用し、損傷を早めたものと思われれます。今回は道路側に吹き飛ばされる前に気づき、ご近所にご迷惑をかけずに済みましたが、タイミングが悪かったり、点検間隔が長かったりすると、適切な対応が取れず、より大きな被害に発展する可能性があったものと思われれます。

7. おわりに

家を点検したりメンテナンスしたりする頻度が、

月に一度になった場合、家にある耐久消費財がどのように損傷・劣化していくかを、私の体験をもとに記しました。自動車とかガス湯沸かし器のように運転する機器は、運転頻度が下がるにつれ調子が悪くなるように思われれます。庭のように手入れが必要なものも、手入れの機会が少なくなるにつれ、状況が悪くなるように思われれます。アンテナとか伸縮扉のようなものは、劣化の進み方は変わらないと思いますが、損傷を発見し2次的な被害を防ぐ点に関しては、毎日の点検が有効と思われれます。

家屋本体に及ぼす影響についてはまだわかりませんが、毎日家に住むということが、家に関わる耐久性消費財を良好な状態で維持したり、2次被害を防いだりするうえで有効であることを、再確認しています。

—さとう ひろし (株)IHI インフラシステム 技術顧問—

